

桜ヶ丘地区交通まちづくり意見交換会の経過

第1回 (H21/09/25)

- (1) 桜ヶ丘交通まちづくり調査の趣意説明
検討期間は2年間とする
検討委員会、意見交換会、市民討議会の3つの会議体で行う
検討委員会が提言書を取りまとめる
- (2) 桜ヶ丘交通まちづくり調査の資料説明
4つの交差方式の比較結果の内容報告
- (3) 市民討議会の開催提案(概略説明)

第2回 (H21/10/23)

- (1) 市民討議会の進め方
参加者は無作為抽出市民(応募者)と意見交換会メンバーとする
現地調査を行う
4つの交差方式の評価(グループ及び個人)を行う
- (2) 4つの交差方式(鉄道高架、鉄道地下、道路高架、道路地下)についての意見
各交差方式を支持するグループに分かれ、支持する理由等を討議
各グループの中で1名が市民討議会において支持理由を発表する

第3回 (H22/01/28)

- (1) 市民討議会の結果報告
市民討議会の結果の検討
- (2) 検討委員会への報告内容
道路高架方式は今後比較対象から除く
市民討議会における各方式への支持者数は無作為抽出市民だけの結果を報告する
意見交換会における各方式への支持者数は、全メンバーに郵送アンケートを行いその結果を報告する

第4回 (H22/07/02)

- (1) 交差方式に関する意見交換会メンバーへのアンケート結果の報告
- (2) 3つの交差方式の検討課題の報告
検討課題と検討方針を報告(次回意見交換会にて検討結果を報告)
- (3) まちづくりの話し合いの場の提案
市民討議会として、市民の自由参加とし、桜ヶ丘地区周辺のまちづくりについて検討する(交差方式を絞り込むものではなく、各交差方式のまちづくりを検討)
委員の中から「市のまちづくり条例に則る「まちづくり協議会」を設立し、まちづくりの検討を行う」との発言あり